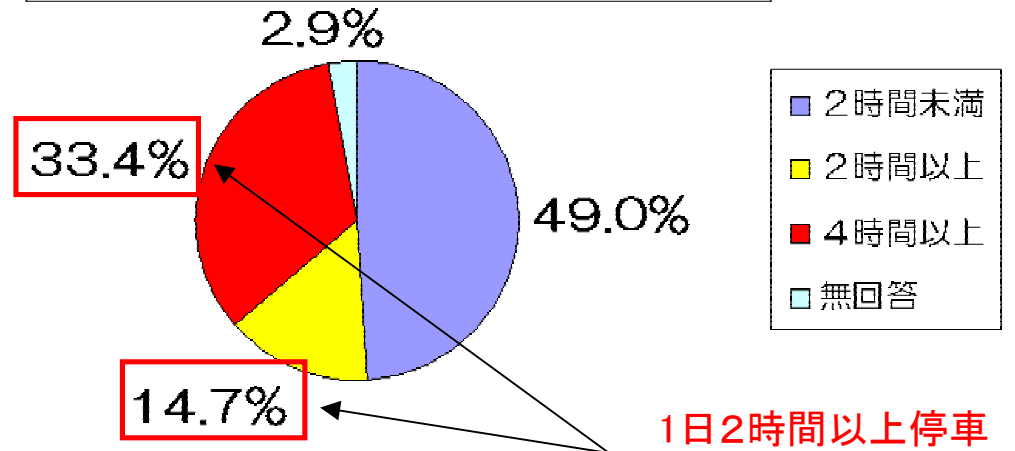


トラックの長時間アイドリングの現状

- ・全国の大型トラック約74万台のうち、物流の主役である営業用貨物車は約53万台程度。
- ・仮眠・休憩や、運転室内の冷暖房のため、アイドリングを日常的に実施しているという実態。
- ・営業用貨物車の約53万台のうち、仮に2分の1が1日2時間アイドリングしたと仮定すると…
年間約79万トンのCO₂が発生

H16年仮眠・荷待ち停車時間実態（営業用）



1日2時間以上停車しているドライバーが全体の約2分の1

全日本トラック協会、平成16年9月調べ
(調査対象: 貨物輸送トラックのドライバー約6,500名)

一般家庭約14万世帯分の年間CO₂排出量に相当

<出典・試算根拠>

- ※ 営業用大型貨物車: 53万台 (「諸分類別 自動車保有車両数」財団法人 自動車検査登録協会編 平成17年3月末現在)
- ※ 軽油のCO₂排出係数=2.62 [kg-CO₂ / L] (環境省「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」ver.1.2: 平成19年2月公表より)
- ※ 大型トラックの燃料消費量=1.56ℓ/h (代表的な数値として環境省HPより引用)
- ※ 一般家庭一世帯あたりの年間のCO₂排出量(2005年度): 5.5t
(国立環境研究所 地球環境研究センター温室効果ガスインベントリオフィス「温室効果ガス排出量・吸気量データベース」より)